

入札監理小委員会における審議結果報告

JAXA 文書管理運用支援業務

宇宙航空研究開発機構（以下「JAXA」という。）の文書管理運用支援業務について、当該民間競争入札実施要項（案）を入札監理小委員会において審議したので、その結果（主な論点と対応）を以下のとおり報告する。

1. 事業概要及びこれまでの経緯について

本事業は公共サービス改革基本方針（平成 26 年 7 月 11 日閣議決定）別表において、新規の事業として選定されたものであり、JAXA の職員が作成または取得した紙文書及び電子ファイル（以下、これらをまとめて「文書」という。）を全体的に蓄積・管理し、有効に活用するため、以下の支援業務を行うものである。

- ① 文書管理システムを使った文書の登録、維持管理、廃棄
- ② プロジェクト情報管理システムを使った文書の登録、維持管理

2. 市場化テストの実施に際して JAXA が行った取組について

市場化テストの実施にあたり、主に以下の点を変更し新規参入を促進している。

- ・業務範囲の見直しを実施（本業務に含まれていた「プロジェクト情報管理システムの運用管理業務」を別調達とした。）
- ・引継期間の延長（約 30 日間→約 60 日間）

3. 実施要項（案）の審議結果について

【論点 1】

従来の実施に要した経費について、別調達にした「プロジェクト情報管理システムの運用管理業務」の経費を差し引いた金額である旨を注記事項に記載すべき。

【対応 1】

従来の実施に要した経費の注記事項に追記した。（資料 6-2 : P41）

【論点 2】

従来の実施に要した人員のうち、別契約の業務との併任者の従事状況をわかりやすくすべき。

【対応 2】

各年度の実施に要した合計人員数（併任人員込み）を追記するとともに、平成 28 年度については実質的な従事総人工数を追記した。（資料 6-2 : P42）

4. パブリックコメントによる対応について

平成 28 年 11 月 2 日から 11 月 18 日までパブリックコメントを実施したが、意見は寄せられなかった。

以上